

## 平成28年度

# 第5次鯖江市総合計画推進にかかる施策方針

第5次鯖江市総合計画の着実な推進を目的として、今年度における政策経営部の基本方針および重点的に取り組む項目を次のとおり定め、着実に推進します。

平成28年5月12日

地方創生統括監 三上裕介  
兼 政策経営部長

## I 基本方針

- 1 市民と行政が協働してまちづくりを進めるため、多様な広報媒体による積極的な情報の発信を行うとともに、市民目線の広報に努めます。
- 2 交流人口の増加を図るため、ホームページなどのSNSを活用した情報発信の強化に努めます。
- 3 第5次鯖江市総合計画(改訂版)の最終年次を迎え、目標達成に向けて各事業を着実に推進します。
- 4 総合戦略の着実な推進に当たり、「産官学金労言」の有識者で構成する「鯖江市総合戦略推進会議」において、各施策の実施状況の検証を行うとともに、必要に応じて総合戦略の充実・見直しを行います。
- 5 ふるさと納税制度の啓発に努め、自主財源の確保およびふるさと産品の積極的なPRを図ります。
- 6 財政健全化に向けて、行財政構造改革アクションプログラムを着実に推進します。
- 7 資金調達の多様化と市民の行政への参加意識の向上を目的に、「元気さばえっ子・ゆめみらい債」を発行します。
- 8 市民への資金調達場の提供を目的として、クラウドファンディング事業を実施するとともに、市の事業への新たな歳入確保の手段として活用します。
- 9 新地方公会計制度に対応するために鯖江市保有固定資産の台帳整備を行うとともに、公共施設等の総合的・計画的な管理に関する基本方針となる公共施設等総合管理計画を策定します。
- 10 市民の誰もがICT(情報通信技術)の恩恵を受けることができるよう、情報化施策の推進に努めます。
- 11 鯖江市に関係する各種統計データを公開するとともに、鯖江市の統計調査の体制強化や市民に対する啓発に努めます。
- 12 市民の市税に対する理解を深めるため、税制度を分かり易く、積極的に広報するとともに、公平負担の原則のもと適正な課税に努めます。
- 13 納税者の視点に立った納税システムの利用促進を図るとともに、市税および使用料等の収納増に努めます。

## Ⅱ 重点的に取り組む項目と具体的な目標

### 1. 市が保有する情報や資料の共有化

市民が鯖江市に愛着と誇りを持ち、主体となってさらに魅力あふれるまちづくりに取り組めるよう、市民記者と連携しSNSを活用した情報発信に努めます。また、市からの情報等を、ケーブルテレビやFM放送などのメディア、ホームページやSNSなどを活用し、迅速に、そしてよりわかりやすくお知らせすることにより、市民との情報の共有化や一体感の醸成を図ります。

◆ 市政情報の視聴率等の向上	
・ 広報さばえ	90%
・ ケーブルテレビ	35%
・ FM放送	20%
・ 市公式ホームページのトップページアクセス数	60,000回/月
◆ 行政出前講座の開催	460回

### 2. 市公式ホームページのリニューアル

地方創生を推進していく上で、情報発信は市の施策を始め観光資源など広く発信していくための有効なツールと考え、公式ホームページをモバイル端末（スマートフォン）対応とし利用者の利便性を図るとともに、インバウンド観光向けの情報発信機能として多言語化に対応するためにリニューアルします。

◆ 【新】市公式ホームページリニューアル	3月
----------------------	----

### 3. 第5次鯖江市総合計画(改訂版)の着実な推進

第5次鯖江市総合計画(改訂版)の仕上げに向けて、部ごとに年度取り組み目標を定めた施策方針を策定し、職員総力を挙げて各施策に積極的に取り組みます。また、次年度に向けて政策課題を整理し、行政評価結果とともに予算編成に生かします。

◆ 各部施策方針	
・ 各部施策方針を策定し、HPで公表	5月
・ 各部施策方針の総括	3月
◆ 行政評価	
・ 各課で継続事業の事務事業を評価（第1次評価）	6月
・ 継続事業の方向性を決定	11月
・ 政策評価	11月
・ 成果指標の進捗状況を総括	3月

### 4. 総合戦略の着実な推進と検証の実施

総合戦略の着実な推進にあたり、「鯖江市総合戦略推進会議」においてKPI（成果指標）の達成状況を検証するとともに、必要に応じて総合戦略の充実・見直しを行います。

◆ 【新】KPI（成果指標）の達成状況の把握	11月
◆ 【新】鯖江市総合戦略推進会議の開催	1回

## 5. ふるさと納税の推進

一人でも多くの人に寄付していただけるよう、お礼品の充実や首都圏等での広報活動に努めます。

◆ イベントや会合などでふるさと納税制度の周知	5回
◆ ふるさと納税目標	900件 8,000万円

## 6. 行財政構造改革アクションプログラムの推進と財政健全化指標の適正水準の維持

鯖江市行財政構造改革アクションプログラムの具体的取組みを着実に実行するとともに、財政健全化指標の適正水準を維持することにより、将来負担を抑制し健全な財政運営に努めます。

◆ 財政健全化指標の平成27年度決算における目標値	
・ 財政調整基金の年度末残高	28億円以上
・ 経常収支比率	90.0%以下
・ 財政力指数	0.65以上
・ 実質赤字比率	0%未満（黒字）
・ 連結実質赤字比率	0%未満（黒字）
・ 実質公債費比率	12.0%以下
・ 将来負担比率	30.0%以下
・ 市債残高（臨時財政対策債を除く）	144.03億円

## 7. 元気さばえっ子・ゆめみらい債の発行

元気さばえっ子・ゆめみらい債を5億円発行し、市民の行政への参加意識を醸成するとともに、資金調達の多様化を図ります。

◆ 広報紙等による周知	2回
◆ 5億円の発行	1月発行 完売

## 8. クラウドファンディング「FAAVOさばえ」の運営および活用

クラウドファンディング「FAAVOさばえ」を運営することにより、新技術・新商品開発や起業のための資金不足に悩む個人・団体・事業所等が資金調達を行う場を提供し、活性化に繋がります。また、市の事業に対しても新たな財源確保の手段としてクラウドファンディングを積極的に活用し、歳入の確保に努めます。

◆ 広報紙等による周知	2回
◆ 目標金額達成事業数	10事業

## 9. 固定資産台帳の整備および公共施設等総合管理計画の策定

統一的な基準による地方公会計制度において、市所有の固定資産に関する財務書類作成に必要な情報を備えた「固定資産台帳整備」を行うとともに、公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る実施方針等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針となる「公共施設等総合管理計画」を策定します。

◆ 【新】固定資産台帳の整備	3月
◆ 【新】公共施設等総合管理計画の策定	3月

## 10-1. 電子自治体を目指した情報化施策の推進

ICT（情報通信技術）を活用したまちづくりと、市民の誰もがICTの恩恵を受けることができるような電子自治体を目指して、様々な情報化施策を推進します。

◆ IT推進フォーラムの開催	130人
◆ オープンデータ推進（オープンデータプラットフォームでの公開）	180件
◆ タブレット、アプリの使用方法やfacebookなどSNS講座の開催	20回 200人
◆ 職員のfacebookアカウント登録数	300人
◆ facebook“めがねのまちさばえ”のいいね数	2,500人
◆ Ustream、Youtubeでの映像発信	30回
◆ 電子申請の利用件数	9,200件
◆ ガバメント2.0・さばレポのアカウント登録数	250人

## 10-2. 情報システム調達ガイドラインの適正な運用と情報セキュリティ内部監査の実施

情報システムの調達手続きや判断基準を統一的に示すことで、各課の情報システムの調達見直しを進め、調達における競争性や透明性を確保します。また、マイナンバー制度運用に合わせて、庁内ネットワークの強靭化を図ります。

◆ 情報システム調達ガイドラインの調整、システム導入支援	10件
◆ 情報セキュリティ内部監査の実施	12件
◆ 情報セキュリティ研修の実施（庁内ネットワーク利用者対象）	1回

## 11. 各種統計データの分析と統計調査体制の強化

鯖江市に關係する統計データの変動が何に起因しているのか、県内各市と鯖江市のデータの差の理由は何かなど、その原因や要因を分析し、政策立案や施策の推進における資料として公開するとともに、鯖江市の統計調査体制の強化を推進します。

◆ 鯖江市統計書の作成	10月
◆ 登録調査員の充実	130人
◆ 鯖江市統計協会研修の実施	30人

## 12-1. 税務広報の充実

市税への理解を深めていただくため、税制についての情報をお知らせします。

◆ 市民税の納税通知書に公的年金特別徴収制度のチラシを同封	全数（4,800人）
◆ 国保税の納税通知書に国保制度のチラシを同封	全数（9,000世帯）
◆ 家屋評価調査時に固定資産税等説明チラシを配布・説明	全数（350件）

## 12-2. 適正課税の推進

税負担の公平を図るため、税務調査の実施により申告義務の的確な把握を行い、未申告者の解消に努めます。

◆ 市民税申告の勧奨	100%
◆ 償却資産新規未申告者への訪問調査率	100%

### 13. 市税等の収納率向上

電話による督促や夜間納税相談を実施するとともに、納税や上下水道料金等の口座振替による利用促進を図り、市税や上下水道料等の収納率の向上に努めます。

◆ 市税および使用料等の収納率（現年度）	
・ 市税	98.0%
・ 国民健康保険税	93.5%
・ 介護保険料普通徴収分	85.5%
・ 上下水道料	97.0%
・ クレジットカードによる納付	450件
◆ 口座振替利用率	
・ 市税	50.0%
・ 上下水道料	84.0%